

新年明けまして
おめでとーございませう。



会長 本間 幸男

希望に輝く平成25年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。「自主・自立、共働・共助」を基本理念とした公益社団法人として3年目を迎え、いよいよその着実な歩みを遂げる重要な年になります。

長引く景気低迷の影響や適正就業の推進により、本年度上半期の事業実績は、若干前年を下回るなど大変厳しい状況にあります。就業の積極的な開拓とともに、会員一人ひとりが受注した仕事を誠実に履行することで信頼を得て、就業の継続につなげるのが大切です。

3年前からの事業仕分けによる国庫補助金の大幅な削減や昨年7月の府中市事務事業の点検の結果、頼みとする公的財政支援は、年々厳しさを増しております。高齢者就業の活動拠点として続けていくた

めには、補助金の減少に対応して、収入の拡充を図るとともにムダを廃し、コストと効果を考えた効率的な運営を推進する必要があります。

ワークブラunchの老朽化に伴う移転につきましては、府中市のご高配により、小柳町の旧市現業事務所の一部を借用し、この4月から新たに開設する運びになりました。襖・障子作業、植木剪定や剪定枝のストックヤード、機械刈り除草作業などの資機材整備の活動拠点として、その有効な活用が期待されます。

独自事業の学習教室や書道教室、パソコン教室、刃物研ぎ、アンテナショップ「ゆうゆう」や布団乾燥事業、着物の着付けや市民の一時的な困り事に応えるお助け隊の活動は、進む高齢化の中で、大いに期待されている事業であり、公益法人として推進していく必要があります。

ボランティア活動については、各地域ごとに多彩な取り組みが行われるなど一定の成果を見ておりますので、今後とも地域貢献をしていきたいと存じます。

安全の確保は、何にも増して最優先にされるべきであり、今年も仕事の行き帰りの交通事故防止、就業現場での安全作業には十分留意されますよう、お願いいたします。

年頭にあたり、会員皆様のご多幸を祈念し、ご挨拶いたします。



府中市長 高野 律雄

公益社団法人府中市シルバー人材センターの会員並びにご家族の皆様におかれましては、輝かしい平成25年の新春をお健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、皆様には日ごろより、市政の各般にわたり、ご理解と協力をたまわっておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

定年などにより退職の時期を迎えた方々が、地域に帰ってこられた後もいきいきと暮らすことができるよう、様々な社会参加の機会や場が提供されることへの期待は、日増しに高まっていると実感しているところでございます。こうした中、貴センターが、共に働き・共に助ける「共働・共助」の理念のもと、幅広い知識と豊富なご経験をお持ちの多くの会員の方々を擁し、地域の発展のために日々活動され、市民から高い評価

を得られておりますことを、大変嬉しく感じております。

これもひとえに、本間会長をはじめ、歴代の役員並びに会員皆様のご尽力の賜物でございます。改めて深く敬意を表する次第でございます。

昨年から開始されました、「お助け隊」事業につきましても、地域高齢者やお体の不自由な方に対する日常の支援活動としての意義はもとより、災害時の共助へつながる可能性を内包しており、大いに期待を寄せているところでございます。

本市といたしましても、市民の皆様が生きがいを持って、住み慣れた地域で暮らせるよう、高齢者福祉をはじめとする様々な施策の推進に力を注いでまいりますので、どうか皆様におかれましては、健康に十分ご留意をいただき、今後とも、変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

新春にあたり、公益社団法人府中市シルバー人材センターのますますのご発展と、会員並びにご家族皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

シルバー人材 センターフェア開催

シルバー人材センターの事業を広く市民の方々にご理解いただくためのイベント「府中市シルバー人材センターフェア」が10月24・25日の両日フォーリス1階「光と風の広場」で開催されました。

「シルバー人材センターフェア」の横断幕の下、様々な就業現場を紹介する数十枚の写真が展示され、入会相談、植木剪定相談、襖・障子張替相談、刃物ときぎ、パソコン教室、書道教室、手づくり作品販売、ふとん乾燥車展示、



着物着付け、お助け隊の各コーナーが設けられました。

高野府中市長もお見えになり、豊富な展示物を大変興味深くご覧になっていただきました。

約2000名を超える入場者をお迎えする事ができ、関係者一同盛会裏に終えられて安堵しています。

「お助け隊」が初登場
初登場の「お助け隊」は屋外に



テントを設け、積極的にお客様のご相談に対応していました。また「手づくり作品販売」は大盛況で、手の込んだ立派な作品には訪れるお客様の関心も高く、例年にも増して売れ行き好調でした。

平成24年度 女性懇談会

三ヶ所で開催

本年度の女性懇談会は一般市民の参加を得て去る11月2日、5日及び7日の3日間、西府、白糸台文化センターとふれあい会館に於いてそれぞれ盛大に開催されました。

懇談会次第は各会場ともに竹内委員長のあいさつで、公益法人移行後センターの対処すべき諸問題や女性に直接関連があり需要の増大している福祉家事援助サービスの取り組みについての話から始まりました。

事務局からは湯沢主任が出席し女性委員会の活動について多くの有効なアドバイスがありました。

引き続き出席者の自己紹介があり、就業状況、趣味、そして一般参加の市民からはセンターとの関係等についてのお話がありました。

ティータイムを挟んでの懇談会では司会者の巧妙なりードによ

り活発で有効な意見、提案等の発言が沢山ありました。

最新のしごと情報では家事手伝い、屋内、外の清掃等 女性に対する求人が圧倒的に多く既に就業中である体験者の報告を参考に対応について議論が集中いたしました。

一般市民の参加者からは会員が真剣に取り組んでいる姿に感動したとの発言もありました。

最終日には就業開拓員のから就業開拓状況の説明がありました。会員からは就業先の拡大を強く要望するなど真剣かつ前向きな実り多い懇談会となりました。



已年生まれの会員さん紹介



三池三郎さん
昭和4年8月生
84才

佐賀の出身。昭和24年に上京し農林資材調整事務所勤務しながら日大夜間部に通っていました。肺結核を病んで休学、回復と同時に東京地方検察庁に就職し定年まで検察事務官として勤められました。奉職中に書の勉強を始め、感謝状なども書いておられたそうです。定年後鉄鋼会社で65歳まで働き、平成7年に入会されました。

入会当時は、互助会の筆耕同好会活動が盛んで、作品展でも活躍し、会の責任者も務めました。今は仕事のみを引き受けています。年賀状も昔は毛筆書いでしたが、今は殆どパソコンに移り、毛筆での注文は、感謝状・表彰状だけになってしまったそうです。

かつては書道展などに出品したこともあるそうですが、今は健康第一、しかし万が一の際、家族に迷惑をかけないようにとお墓も用意し、また三鷹の杏林大学に献体の申し込みもしてあるそうです。昭和の強い男の生き方を感じました。



大塚京子さん
昭和16年1月1日生
72才

東京の恵比寿で昭和16年の1月1日に生れ、「東芝」とその子会社に通算25年勤め、この間企業内の女子学園教育センターでは人に教えることの難しさを知ったといいます。さらに「島忠」で仕入れやトラックの誘導などの仕事を10年勤め、平成18年4月から会員となりました。

誠に多彩な仕事をこなした大塚さんにふさわしく、現在の一つの仕事は、市立第七小学校の事務作業の仕事を週に4日、朝8時半から12時までの勤務。そして二つ目の仕事は市からの委託業務で、泉苑で行っている一人暮らし老人宅(8軒から10軒)への食事を届ける業務を週に二日(木・土)の16時30分から18時30分まで行っています。一人暮らしのお年寄りから有難うと言われると嬉しくなりこの仕事をやってよかったです、と思うそうです。

昔は、生け花、書道、お琴から、卓球、登山、オートバイ運転まで何でも手をつけましたが、今はお孫さんと市営プールで泳ぐのが楽しみと。でもまだまだ先が楽しみなスーパーウーマンの大塚さんでした。

働く会員の職場訪問

府中市女性センター

スクエア21府中市女性センターは、女性の地位向上と男女共同参画を推進する拠点として市民をバックアップし、学習と交流の機会と場を提供しています。肥後純子所長を含め3人の市職員と9名の女性スタッフ(臨時職員)の職場に、センターからは職群リーダーを中心に男性5名の会員が業務員として就業しています。

皆さんの仕事のようです。取材にお邪魔した時は12月1日・2日の「第26回府中市男女共同参画推進フォーラム」を間近に控えてその準備にお忙しい時期でしたが、皆さん就業前に集まってにこやかにお話ししていただきました。そして取材・写真を撮り終わると、当日の勤務(午後5時から10時までの)会員さんは気合を入れて就業の準備をされていました。



皆さん他の施設管理の仕事を経験されたベテランばかりですが、ここはなんとといっても女性の多い職場だけに気を配ることも多いようです。また、制服はなく、名札だけなので、利用者には市の職員との区別はつかないことから応対や言葉遣いに注意を払っているようです。情報資料室の図書整理や、会議室、学習室のほかに、パソコンを使う学研室、工芸室、商品テスト室、保育室、和室など多彩な利用に応じて椅子や机をセツトするなどの力仕事は、専ら会

自転車安全教室



秋も深まり木々も色づく11月9日(金)午前9時45分から東京競馬場の東駐車で府中警察署の協力により高齢者自転車教室が開かれました。会員と一般市民96名が参加し、会長のあいさつの後、府中警察交通課課長から交通事故の45パーセントが自転車絡み、うち25パーセントが高齢者の事故が多いとの話がありました。自転車での安全走行を各自体験しました。また、自転車の点検と反射神経測定器を使い俊敏性年齢を測定し、体力の衰えを自覚できました。この催しを府中市のテレビ広報「まるごと府中」での取材もありホームページなどで放映されました。

東京しごと財団 安全就業パトロール

11月14日(水)午前10時から、東京しごと財団の「安全・適正就業パトロール指導員」による安全パトロールが行われました。

会員の安全就業と事故防止の徹底を図ることを目的に、毎年実施しています。

午前中は、会員の就業現場巡回で、事故の多い職種「清掃(屋内・屋外)・植木剪定・除草」のうち機械草刈り作業現場(4名就業)

植木剪定作業現場(2名就業)の2現場を巡回し、安全就業についての細かい内容をチェック、(それぞれのリーダーに、安全就業基準・作業別安全就業基準の内容確認)を行いました。

午後からは、現場巡回についての講習が2現場まとめてありました。

①救急対応として、各自、救急絆創膏、消毒用アルコール、軟膏等を持参しているが、センターが各職種に貸与を検討してほしい。

②就業現場で、朝の柔軟体操、準備運動は必ず実行してほしい。

③養生の防護ネットは、1方向だけでなく4方向に実践してほしい。

④保護メガネは持参しているが使用

していないので必ずかけること。
⑤カラーコーンを設置しているが、3〜4個設置したほうが望ましい。
以上であります。巡回現場会員の安全就業について、相当自覚はしているとの評価を頂きました。
安全就業については、職種、班、会員の仲間、いわゆる小集団で繰り返し話し合うことが大切です。



警視庁より 感謝状を受賞

表彰される
平成24年度交通安全功労者

平成24年11月21日(水)午後2時から府中警察署に於いて交通安全功労者の表彰がありました。昨年の会合では交通事故約250件のうち死亡事故は9人でした。本年は現在まで1人で大幅な減少になりました。これは府中警察署が重点的に交通安全の指導をしたのが効果を上げています。

町内、会社、学校、幼稚園等グループが数多く表彰されました。我がシルバー人材センターは特に警視庁交通安全部からの特別表彰があり感謝状が授与されました。

今後、ますます自転車運転、歩行者も交通安全に充分気を付けて生活をいたしましょう。



東京しごと財団 「フォーラム」に 参加して

10月19日(金)午後1時30分～4時の日程で、都内各シルバー人材センターの役員を対象とする財団フォーラムが開催され、参加数は150余名でした。

当センターからは総務委員会・遠藤委員、業務委員会・近藤委員、広報委員会・三坂委員長の各委員が参加しました。

財団理事長安藤弘志氏の開催あいさつに続いて、弁護士の檜垣直人氏による以下の「基調講演」がありました。

地域ニーズに適正に 대응するための「公益法人の経営の視点としての法令遵守」、すなわち法人のガバナンス・経営のコンプライアンスの確保についての具体例を挙げての説明がありました。

次いでフォーラムの第2弾は、シルバー人材センターに相応しい事業の推進をテーマに、2点の

「事例発表」がございました。

①港区の例として、地域の子供たちは地域の高齢者が見守るを基本テーマに、「児童通学案内業務」で地域の行政ニーズに応える。

②江戸川区の例は、元気な高齢者が支援を必要とする人をサポートするために「シルバーお助け隊事業」を企画し、「ご家庭での小さなお困り事支援します」をテーマに、行政への働きかけを積み重ねて、行政側の市民サービス代行をねらう活動にまで発展している。

我が府中でも、①、②はすでに実践済みであり、今後一層の期待が寄せられています。



手づくりの会 活動風景

手づくりの会が作品販売で出展している、11月18日(日)府中郷土の森観光物産館、24日(土)府中駅北口のNPOボランティアまつりを取材しました。

手づくりの会はセンターの職群のひとつで、布地を使用した手工芸品を作り、イベント開催時などに出品即売しています。作品はセーターから帽子、マフラー、袋物、財布、文具入れ、エコたわしやお手玉まで、多岐にわたっています。

活動人員は30人ほどで平均年齢は75歳くらいだそうです。この職群ができて6年たちますが、材料を購入し、製作場所は、晴見町の「ゆうゆう」で、第二・四木曜日に行っています。作品は細か

く、精巧にできていますが、ほとんど職群会員が工夫し、刺し子(手芸の一分野で、布地に糸で幾何学模様等の図柄を刺繍して縫いこむこと)は専門家から指導を受けたそうです。

販売は今回の出展先の他に、シルバー人材センターフェア、8月の商工祭、11月の職業能力開発センターなど、年に8回くらいあるそうです。皆さんが若々しく活発に販売活動をしているところを見て、元気づけられました。



第14回安全推進大会の ご案内

高齢者の健康維持・増進のための
体操を行います。

毎年恒例となりましたインストラクターによる楽しい運動の指導をいたします。

記

日時：1月25日（金）

午後2時から4時まで

会場：ふれあい会館5階第4会議室

講師：東京しごと財団専属トレーナー

申込みは事務局まで
(事前に申込みが必要です。)

第2回 ふれあい作品展

開催日

2月15日(金)から18日(月)

午前10時から午後5時(18日は午後3時まで)

会場

府中グリーンプラザ5階 展示ホール

展示

60歳以上の市民の方の作品(絵画、日本画、版画、書、写真、彫刻等)

《入場無料》

主催：公益社団法人 府中市シルバー人材センター (TEL.042-366-2322)

後援：公益財団法人 府中文化振興財団

平成24年度
市民・会員対象講演会と
交流会を開催します！

公益社団法人公益活動の一環として、市民・会員の方を対象とした講演会を開催します。60歳以上の市民の方でしたらどなたでも大歓迎です。ぜひ、お友達をお誘いください。

日時 2月27日(水)

午後2時から3時30分

場所 市立ふれあい会館5階

第4会議室

演題

「バスガイドは見た！」

「移り変わる世相と人間模様」

関口 ツユ子氏

参加費無料

申込みセンター事務局

電話 (366)2322(馬場まで)



■シルバー川柳

登り道年ごとに高くなる 高尾山？

また一つ遠慮したのに増えた年齢(し)

青柳奎吾

誕生日 嫁に押されて 孫集う

三坂益路

診療所 シルバーたちの 憩いの場

鏡 陽次

■俳句

紅葉は 紅と緑の 万華鏡

迫りくる おのれの八十路 立志坂

西隈邦彦

冬の陽や 無声映画の ように降る

岡 莞弥

(会員からの川柳・俳句を募集しています。)

編集後記

新年号の巻頭を飾るのは、今年も本間会長の力強い新年のごあいさつ、次いで、高野府中市長の温かい励ましのお言葉です。

特筆すべきは、安全就業にまつわる安全意識の高揚活動と事例発表の数々、それに巳年生まれの会員さんの元気な活動紹介の記事です。

昨年のシルバー人材センターフェア開催では「お助け隊」の初参加があり、新事業の立上げに大きな期待が寄せられています。



シルバー人材センターフェア



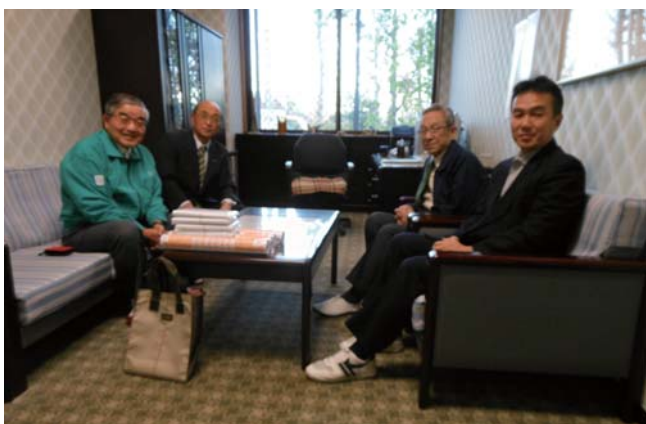
シルバー人材センターフェア



自転車安全教室反射神経測定



自転車安全教室「まるごと府中」取材



年末のご挨拶(安立園様)



技能祭出展



今年もサンタ(芝原会員)



片町地域ボランティア清掃